

### ■米国：消費者団体が NY 州における小売事業者選択に注意喚起

米国の消費者保護団体である全米退職者協会（AARP）は 2012 年 9 月 19 日、ニューヨーク（NY）州の電気料金（世帯当たり）に関する調査の結果、小売事業者を選択した世帯の料金が、標準サービスを提供するナショナルグリッド社の料金と比較して、年平均 200 ドル以上高額であったとし、消費者に対し事業者選択における細心の注意を促した。加えて、AARP は、50 歳以上の世帯の 40%が電気料金の支払いが「困難」と感じ、さらに 18%が「非常に困難」と感じているとするアンケート結果について、高齢者世帯ほど小売事業者からの高額請求の影響を大きく受けていると分析している。これらの結果を受け AARP は、需要家に小売価格に関する正確な情報が伝達されるよう、州規制当局が情報公開の方法を整備すべきだと提言している。